

当社は、東京電力㈱福島第一原子力発電所の事故を重大に受け止め、同様の事故を二度と起こさないとの決意のもと、大きな地震や津波が来ても原子炉の冷却機能などを失わないよう安全対策の強化に取り組んでおります。

具体的な対策としては、津波から発電所を守る浸水防止対策、外部電源がなくなった時の電源確保対策、万一すべての電源がなくなっても原子炉等へ注水し冷却するための冷却機能確保対策のほか、緊急時の対応体制の整備・強化や、いろいろなケースを想定した訓練などを行っています。

今回は、安全対策強化を図った訓練状況をご紹介します。

これからも、新たな知見に応じて対策を講じ、さらなる安全対策の強化に取り組んでまいります。

敦賀発電所の安全対策の取り組み状況

安全対策の強化 ◎:実施済 ○:実施中又は実施予定

浸水防止対策

・安全上重要な設備の津波による浸水を防止

- ◎安全上重要な建屋の扉や貫通部をシール施工
- 安全上重要な建屋の扉を水密扉に取替え
- 標高8mの防潮堤の設置
- 海水ポンプエリアに防護壁を設置

電源確保対策

・電源喪失を起こさないため、電源を多重化、多様化

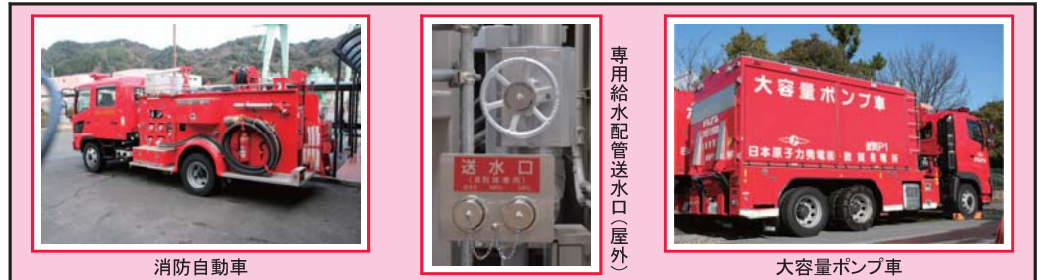
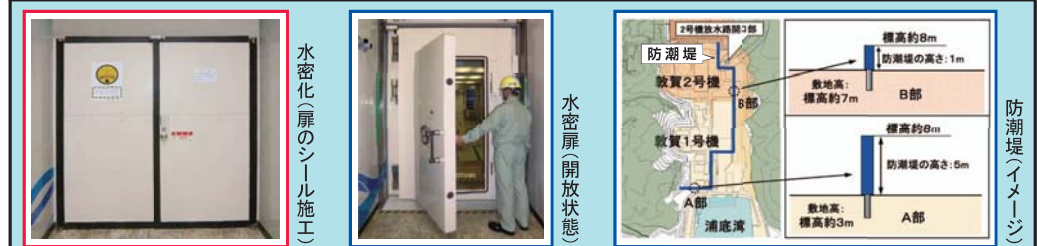
- ◎非常用ディーゼル発電機冷却用の可搬式ポンプを配備
- ◎非常用ディーゼル発電機の代替となる高压電源車と低压電源車を配備
- ◎1,2号機間の融通用電源ケーブルを設置
- 外部電源からの受電回線を多重化
- 恒設の空冷式発電装置の設置
- 77kV 開閉所施設を高台へ移設

冷却機能確保対策

・原子炉や使用済燃料プールの冷却手段を多様化

- ◎消防自動車、消防ポンプ・ホースを配備（発電所内の複数のタンクを給水源として使用）
- ◎大容量ポンプ車を配備
- ◎1号機非常用復水器への専用配管を新設
- ◎使用済燃料プールへの専用給水配管を新設
- ◎海水ポンプモータの予備品を配備

取り組み状況 □:実施済 □:実施中又は実施予定



私たちは、原子炉を確実に安全に停止するため、いろいろな訓練を行っています。

【電源確保対策訓練】

・電源がなくなったときは、電源車を起動して電源を確保します。



高圧電源車の起動訓練(配備場所)



高圧電源車遠隔起動訓練(中央制御室)

【アクセス道路確保対策訓練】

・津波により打ち上げられたがれき等を撤去しアクセス道路を確保します。



ホイールローダによる障害物の撤去訓練

【災害対策本部における事故対策訓練】

・緊急時対策室建屋に災害対策本部を設置し、情報収集・対策検討・指揮命令・通報連絡を行います。



情報収集訓練

表示装置操作訓練

衛星電話による通報連絡訓練



免震構造で、放射線防護対策を講じた緊急時対策室建屋

【発電所支援訓練】

・敦賀市内で、要員の派遣、資機材の調達・運搬、メーカー支援対応等、発電所への支援を行います。



敦賀発電所災害対策本部支援訓練(敦賀市内)

【冷却機能確保対策訓練】

・原子炉の冷却に必要な水(海水など)をタンクに確保します。



送水ポンプへのホース接続訓練



送水ポンプ吊降ろし訓練(岸壁)



分岐・送水訓練



タンクへの注水訓練



日本原子力発電株式会社 敦賀地区本部 業務・立地部

お問い合わせ先 〒914-0051 福井県敦賀市本町2丁目9-16 TEL 0770-25-5713 (土日祝日を除く9時~17時)

東北地方太平洋沖地震における当社の対応については、ホームページに詳細情報を掲載しておりますのでご覧ください。 <http://www.japc.co.jp>